

企業会計



19年度の企業の経営成績を表す収益的収支は、地下鉄、水道事業で黒字となりましたが、市立札幌病院、中央卸売市場、路面電車、下水道事業で赤字となりました。

資金:ここでは年度末に残っているお金などのこと



市立札幌病院

主な実施内容:18年度から進めていた総合医療情報システムの整備が完了し、20年1月に稼働

●収益的収支の状況

収入 202億円 **支出 211億円**
差し引き **-9億円**

●資金の状況

30億円の資金残 赤字の累計額**169億円**



中央卸売市場

主な実施内容:市場用地を広げるため、積み荷、荷さばき、駐車などのスペースとして土地を取得

●収益的収支の状況

収入 23億円 **支出 30億円**
差し引き **-7億円**

●資金の状況

26億円の資金残 赤字の累計額**30億円**



路面電車

主な実施内容:老朽化した車両の改良などを実施

●収益的収支の状況

収入 13億円 **支出 13億円**
差し引き **-200万円**

●資金の状況

4億円の資金残



地下鉄

主な実施内容:点字ブロック設置などのバリアフリー化や避難通路の設置などの火災対策を強化

●収益的収支の状況

収入 496億円 **支出 477億円**
差し引き **+19億円**

●資金の状況

14億円の資金不足 赤字の累計額**3,399億円**



水道

主な実施内容:施設の耐震化、緊急貯水槽の設置など、水道の信頼性をより一層高めるための事業を実施

●収益的収支の状況

収入 447億円 **支出 411億円**
差し引き **+35億円**

●資金の状況

60億円の資金残



下水道

主な実施内容:汚泥処理集中化の一環として、東部スラッジセンターの運転を開始

●収益的収支の状況

収入 437億円 **支出 441億円**
差し引き **-4億円**

●資金の状況

96億円の資金残 赤字の累計額**267億円**

そのほかのお金など

基金

特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使う市の貯金

●現在高**2,392億円**
財政調整基金143億円など

一時借入金

年度途中でお金が足りなくなったとき、一時的に銀行などから借り入れるお金

●各会計ともなし

※平成20年3月末現在

財産

■公有財産

土地/5,349万平方メートル 建物/延べ面積556万平方メートル
有価証券/46億円 出資による権利/134億円など

■物品(価格が100万円以上のもの) 3,968点(台)

■債権(市から民間への貸付金など) 110億円

平成20年度予算 上半期執行状況

4月から9月までの主なお金の動きをお知らせします。

〈一般会計〉

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
7,825億円	42.0%	42.2%

〈特別会計〉

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	1,912億円	29.3%	43.0%
老人医療	199億円	72.1%	89.8%
介護保険	913億円	39.9%	39.5%
その他	270億円	27.3%	26.1%

〈企業会計〉収益的収支の状況

区分	収入予算額	収入執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	214億円	47.2%	223億円	46.5%
中央卸売市場	19億円	46.2%	29億円	24.7%
路面電車	13億円	42.5%	14億円	34.4%
地下鉄	488億円	49.4%	477億円	26.7%
水道	441億円	49.3%	409億円	36.6%
下水道	437億円	49.1%	441億円	26.2%

〈市債残高〉

区分	市債残高
一般会計	1兆770億円
特別会計	60億円
企業会計	9,598億円
合計	2兆429億円

〈一時借入金〉各会計ともなし
※平成20年9月末現在

〈基金〉現在高2,383億円

市の財政についてもっと知りたい人は、ホームページもご覧ください

ホームページ www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo